「地域金融セミナー」
～伴走と対話でつくる地域の未来～
橋本卓典氏と伊藤貢作氏をお招きしました

令和４年１２月１７日(土)当金庫におきまして共同通信社の橋本卓典氏と企業支援の最前線で活躍されている北門信用金庫・企業支援室長の伊藤貢作氏をお招きし「伴走と対話でつくる地域の未来」講演会を行いました。この講演会は官･民･金の有志が集うネットワーク《ちいきん会》と《地域金融変革運動体》でのご縁によって実現しました。

【第一部】橋本卓典氏

『未来の地域金融～他人事金融から自分事金融に生まれ変われるか～』

【第二部】伊藤貢作氏

『地域信用金庫における企業支援を考える～コロナ禍とコロナ後の企業支援と再生の課題～』

をテーマにご講演いただきました。

コロナ禍は自分事金融への転換のチャンスであり、これから我々が目指すべき姿や業種別の現実的な事業性見極め方法、アフターコロナにおける３つの大きな課題についてお話をいただきました。

本セミナーは信金中央金庫東北支店様、日本政策金融公庫仙台支店様、宮城県信用保証協会様、ＴＫＣ東北会宮城県支部様など金融機関の枠を超えて８０名にご参加いただき、大変熱気を帯びた時間を過ごすことができました。会場をご提供いただきました信金中央金庫東北支店様、土曜日にもかかわらずご参加いただきました各機関の皆さまにつきましても心から感謝申し上げます。ご多忙の中ご講演いただき、私たちに「今後の伴走支援について見直すきっかけ」を与えてくださった橋本さん・　伊藤さん貴重なお話、ありがとうございました！！

ニッキンオンラインに掲載されました!!

https://www.nikkinonline.com/article/76124

宮城第一信用金庫